

VALUE FUSION 2022

2020-2022年度 中期経営計画書

Challenge, Value, Teamwork for the future



2020年4月

東海エレクトロニクス株式会社

第4次中期経営計画「Value Fusion 2022」について

当社はこれまで「Business Revolution 2013」「Global Action 2016」「Value Innovation 2019」の各3カ年計画の下、「新たな価値を創造するソリューションプロバイダーとして、お客様のかけがえのないパートナーに」を合言葉に、自動車ビジネスの深化、海外拠点網やエンジニアリング機能の強化、システムやソフトウェアなど新領域のビジネス取組を積極的に進めて参りました。

これまでの成果を引き継ぎ、更に高い次元で価値、ソリューションのご提供ができる企業へ飛躍すべく、2020年度からの新中期経営計画「Value Fusion 2022」（略称：VF22）を策定しました。

VF22の方針の下、益々エレクトロニクス化、グローバル化が進む事業環境の中で、全社一丸となりお客様の視点に立ったソリューションのご提供に努めて参ります。

取り巻く事業環境

- コロナウィルスによるマクロ経済停滞
- 温暖化など地球環境への懸念増大
- クルマの急速な変革(CASE, MaaS)
- 技術革新:IoT、ビッグデータ、AI

当社の強み

- ✓ **Solution :** システム構築からデバイス、ソフトウェアまで幅広くご提案
- ✓ **Global Network :** 国内・海外各拠点のシームレスなネットワーク
- ✓ **Quality and Technology:** 品質への徹底した拘りと技術開発・提案

Value Fusion 2022 骨子

◆ 骨子

前期中期経営計画 Value Innovation 2019での成果を踏まえ、

1. 共に手を取り、未来への価値を創ろう

～お客様の期待を超える感動を創り出そう～



2. より豊かな生活に、より良い環境作りに貢献

～自動車、医療、環境・エネルギーなど社会・生活インフラへの注力～

これらの実現に向け、アクションの策定・実行を推進します

◆ 2022年度目標

・連結売上高 520億円、営業利益 10億円、当期利益 5.5億円

VF22 Key for Success

1. 共に手を取り、未来への価値を創ろう

～お客様の期待を超える感動を創り出そう～

- ①共に経験を共有し、価値の融合から新たなソリューションを生み出そう
- ②グローバルに活躍する仕事のプロを目指そう
- ③システム・ソフトウェアビジネスを拡大しよう
- ④正確かつ健全な財務(B/S)体質を目指そう

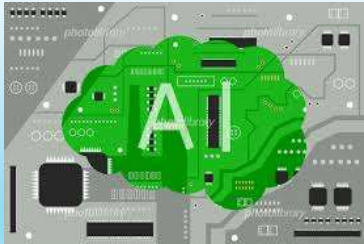


2. より豊かな生活に、より良い環境作りに貢献

～自動車、医療、環境・エネルギーなど社会・生活インフラへの注力～

- ①自動車とそのアプリケーションに精通し、モビリティ社会の創造に貢献しよう
- ②システム構築からセンサ、素材、ソフトウェアなど、
私たちの強みで新たな価値を造ろう
- ③持続可能な社会の実現に向け、医療、環境・エネルギー分野で貢献しよう

FY2022 ……なりたい姿へ



私たちは、エレクトロニクスのプロです！

- ・自動車、産業機器、医療等で拡大するエレクトロニクスの可能性を探求し、住みやすく快適な社会の実現に貢献します



私たちは、世界で活躍します！

- ・海外ネットワークを活かし、一丸となったサービスを仲間と共にグローバルに提供します



私たちは、新たな価値を追求します！

- ・環境の変化を捉え、プロアクティブに行動します
- ・お客様のかけがえのないパートナーとして真のソリューションを提供します

活動事例：Value Fusion Room オープン！

共に手を取り、
未来への価値を創ろう！



- ・本社2Fに知的活動拠点、価値創造空間として2019年8月にオープン
- ・自由な空間で将来への想いを巡らせ、ディスカッションを行う事で新たな価値の創造へと繋がります
- ・VFRには東海エレクトロニクスの考えるアイデアやソリューションを展示。直接触れる事で新たなアイデアへの気づきを創ります



活動事例：車載市場への取組深化



展示会活動

- ・国際カーエレクトロニクス技術展への出展やお客様サイトでの個別展示会を積極開催
- ・進化する自動車にエレクトロニクスのソリューション提案で貢献します

全社横断プロジェクト

- ・5つの全社プロジェクトを推進
各市場への取組深化を目指す
- ・環境と自動車、医療と自動車など
各市場でクロスオーバーする
技術や情報を捉え、強みとして提案

CAR

環境・エネルギー

医療

IoT・FA

ソフトウェア

活動事例：より豊かな生活、より良い環境作りに貢献

SDGs開発目標に向けた取組

5つの全社プロジェクトでは各市場の最先端の動向、技術を徹底分析し、豊かな生活とSDGs開発目標実現のため取り組んでいます



＜SDGs開発目標に対する取組事例＞



すべての人々の、安価かつ信頼できる持続可能な近代的エネルギーへのアクセスを確保する

- ・車載エネルギー効率化、軽量化
- ・電動車駆動システム(eAxle)
- ・電力効率化(エネルギーマネジメントシステム)



強靱なインフラ構築、包摂的かつ持続可能な産業化の促進及びイノベーションの推進を図る

- ・工場管理、予兆監視システム
- ・ビル振動監視、解析システム
- ・鉄道走行時の走行状態計測システム



包摂的で安全かつ強靱(レジリエント)で持続可能な都市及び人間居住を実現する

- ・MaaS社会創設への取組(CARプロジェクト)
- ・高齢者見守りシステム
- ・環境に優しい材料、加工方法提案

本部・カンパニー別戦略

国内営業本部

関東・甲信越カンパニー

- ・車載市場への技術提案強化
- ・FA,ロボット,医療へのシステム提案

システム・ソリューションカンパニー

- ・システム、通信、ユニットビジネス
- ・航空宇宙産業への取組強化

海外営業本部

- ・グローバル車載ビジネス強化
- ・海外メーカーと協業ビジネス推進

マーケティング本部

- ・システム、エレクトロニクス、センサ、
マテリアルの製品セグメント戦略推進

中部・関西第1カンパニー

- ・FA・工作機械分野強化
- ・医療分野へのシステム提案強化

中部・関西第2カンパニー

- ・車載ビジネス拡大、深化
- ・若手プロフェッショナル人材の育成

中部・関西第3カンパニー

- ・主要取引先への営業・技術サポート強化
- ・CASE、MaaS領域での提案

技術本部

- ・車載新技術の発掘と実装
- ・MaaS社会へのソリューション提案

管理本部

- ・グローバル人材育成,リスク管理強化
- ・財務健全性の維持・強化

IR、CSR 関連取組

IR: 投資サマナーセミナー



8月～9月に中電ホールにて開催される個人投資家様向け説明会に毎年参加しています。大倉社長からの当社ビジネスや今後の取り組み等のご紹介に加え、海外で活躍されている方々にも発表いただき、当社グループを投資家様にご理解いただける良い機会となっています。

IR: 名証IRエキスポ



TEJブースお立寄投資家様数

毎年7月に吹上ホール(名古屋市)にて開催されている名証IRエキスポ。投資家様に、当社を知っていただき、また御意見をお伺いできる貴重な機会として、積極的に参加しています。

CSR: とだがわの森感謝祭

当社は2004年には国内グループ全体でISO14001認証を取得して以降、今では海外5拠点でも認証を取得し、電気・廃棄物等の環境負荷の軽減から、ボランティアや寄付等の社会貢献活動、さらには環境にやさしい製品の販売拡大など、様々な角度から、サステナビリティ経営に取り組んでいます。



＜主な社会貢献活動＞

- ・東日本大震災、熊本地震被災地への義援金
- ・年末助け合い運動への寄付
- ・ペットボトルキャップ回収
- ・書損じ葉書寄付など



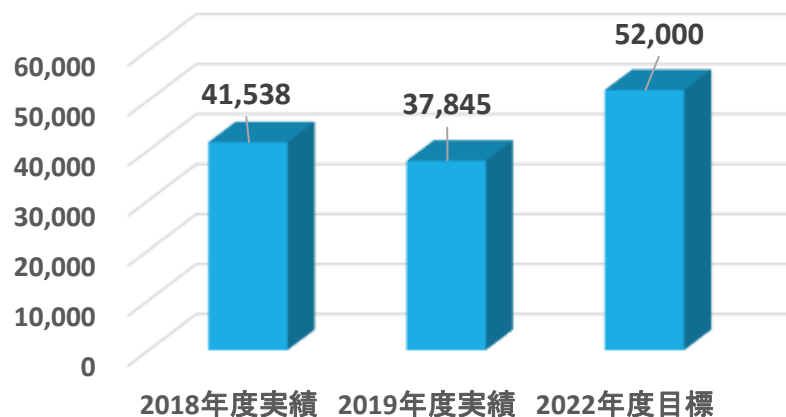
経営数値目標

中期経営計画 数値目標

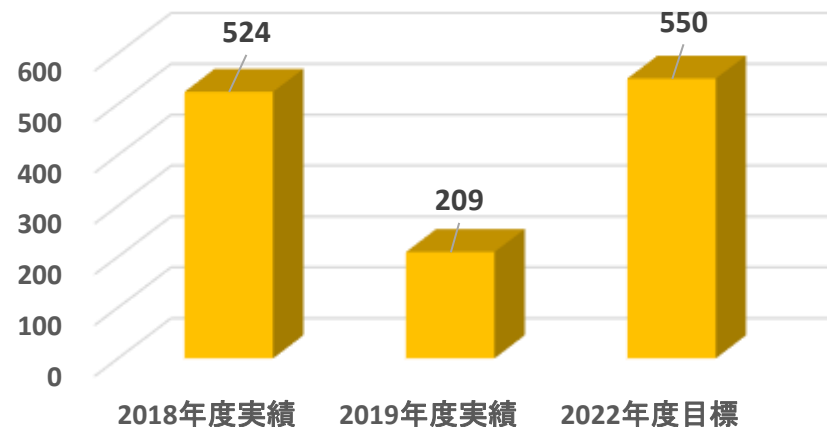
【連結ベース、単位：百万円】

	2018年度実績	2019年度実績	2022年度目標
売上高	41,538	37,845	52,000
営業利益	771	385	1,000
(営業利益率)	1.9%	1.0%	1.9%
当期純利益	524	209	550

売上高



当期純利益



エレクトロニクスで、もっといい世界に。もっといい明日に。



VALUE FUSION 2022